

## 平成21年度の主な新規事業

### 子育てするなら さいたま市

将来を担う子どもたちが健やかに育つよう、子育て支援策を展開します

**【保健衛生部門】**

- 妊婦健診公費負担の拡大
- 産科医等確保支援事業

**【福祉部門】**

- ナーサリールーム・家庭保育室の保育料負担の軽減
- (仮称)さいたま市子ども総合センター整備事業

**【教育部門】**

- 特別支援学校整備事業
- 理科支援員等配置事業
- さいたま市立養護学校・内野地区公民館整備事業



### 安心・安全なまちづくり

市民が安心して暮らせる、安全で快適な生活環境を確保します

**【総務部門】**

- 消費生活相談員の増員
- 災害用マンホール型トイレの設置
- 地域防災リーダー養成事業

**【保健衛生部門】**

- 新型インフルエンザ対策事業
- 食品安全強化プロジェクト

**【建設部門】**

- 耐震診断員の無料派遣
- 宅地耐震化推進事業



▲総合防災訓練の様子



▲消費生活相談

### 環境

環境に配慮したまちづくりと、地球温暖化防止対策を推進します

**【環境部門】**

- LED照明の積極的導入
- 電気自動車の導入
- 太陽光発電の積極的導入  
(住宅用太陽光発電システム設備設置補助など)



▲導入予定の電気自動車(イメージ)



▲太陽光発電システム

平成21年度予算に関する資料は、市ホームページ、各区1階情報公開コーナー、各図書館でご覧になれます。

詳しくは、財政課(☎829・1153、FAX 829・1997)へ。

予算  
総額

# 6,773億2,829万円

世界的な金融危機の影響により、日本経済は深刻な危機に直面しており、本市でも法人市民税の大幅な減収を見込んでいます。その一方で、歳出は、高齢化の進展などを背景に社会保障費が増加する状況です。

このような状況で、本市では既存事業の徹底した見直しや財源の確保などの行政改革を進めると共に、「子育て支援」「安心安全」「環境」の3つの分野や、地下鉄7号線の延伸の取り組みなど「快適な都市・生活基盤づくり」へ重点的に予算を配分しました。また、緊急に対応すべき経済対策や雇用対策をスピーディーかつ切れ目なく実施するための予算を編成しました。

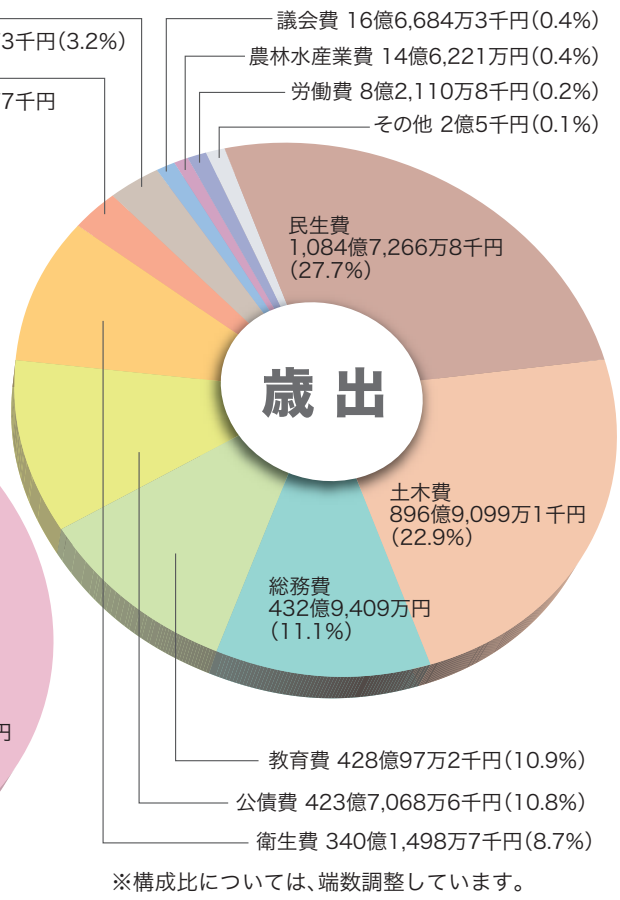
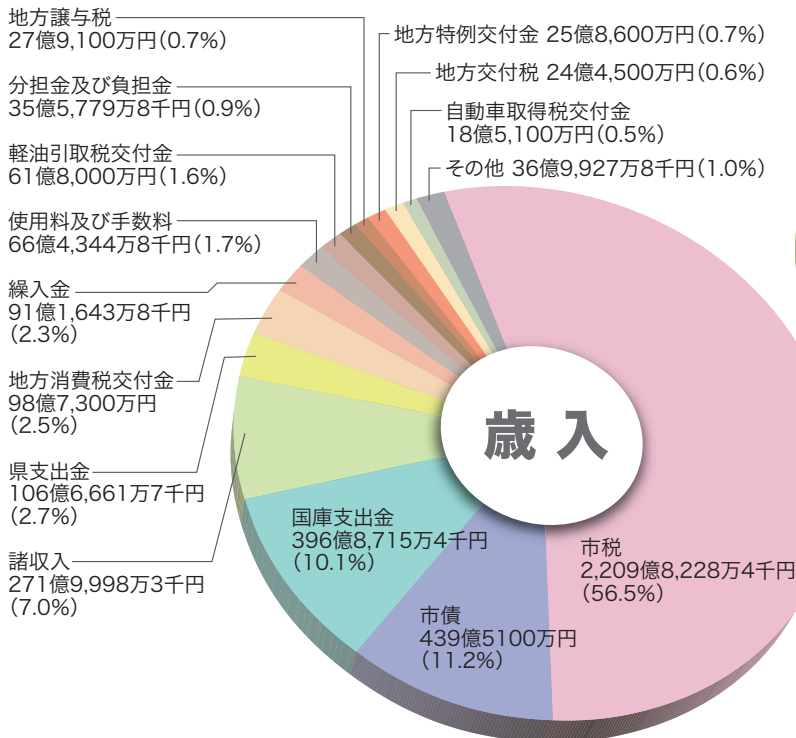
その結果、一般会計予算額は前年度から8億円の増額(+0.2%)となっています。

## 予算の内訳

◆一般会計	3,912億3,000万円
福祉や教育、公園や道路の整備など、行政運営にかかる基本的な経費	
◆特別会計	1,746億円
国民健康保険や介護保険など、特定の収入をもって運営される事業の経費	
◆水道事業	493億4,029万円
◆病院事業	124億8,200万円
◆下水道事業	496億7,600万円

## 一般会計の内訳

3,912億3,000万円



※構成比については、端数調整しています。